

武蔵野市気候市民会議 (第2回)

令和4年8月23日

武蔵野市気候市民会議 について

実施体制

武蔵野市気候市民会議

参加者

68人

アドバイザー

- 東京大学未来ビジョン研究センター教授
国立環境研究所 上級主席研究員
江守正多氏

事務局

- 武蔵野市環境政策課

グループ討議支援・オンライン対応

- アオイ環境(株)

背景

近年、地球温暖化が原因とみられる異常気象が多発
2050年に向けて、私たちの暮らしの中でも、「大きな転換」が必要

武蔵野市気候市民会議

- 地球温暖化・気候危機問題を共有し、脱炭素社会を目指してその対策について話し合っていく場。
- 気候変動問題の当事者としての「気づき」や「行動変容」を市全体へ広げていく

武蔵野市

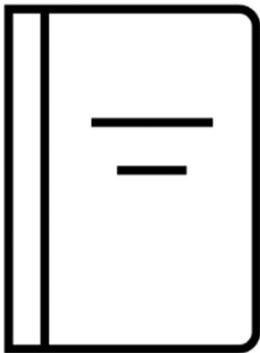
2050ゼロカーボンシティ表明
(令和3年2月表明)

武蔵野市地球温暖化対策
実行計画(事務事業編)
(令和4年4月改定)



気候危機打開武蔵野市民
活動プラン(仮称)
(令和5年4月作成予定)

目指すこと



武蔵野市気候市民会議

無作為抽出などによって選ばれた市民が、
地球温暖化・気候変動対策について話し合う

(全5回：令和4年7月～11月)

- ① 市では、会議の議論を踏まえ、市民一人ひとりの環境配慮行動を示す「気候危機打開武蔵野市民活動プラン（仮称）」を作成
- ② ご意見を参考に支援の取組を行うことにより、市民の行動を後押し

全体スケジュール

	第1回 (7月26日)	第2回 (8月23日)	第3回 (9月27日)	第4回 (10月25日)	第5回 (11月22日)
説明	ガイダンス	前回の確認、 本日の進め方	前回の確認、 本日の進め方	前回の確認、 本日の進め方	本日の進め方、 市民活動プラン の作成について
講演 (25分～30分)	講演・対話 地球温暖化の現 状とこれからの 社会 東京大学未来ビ ジョン研究セン ター教授／国立 環境研究所 上級 主席研究員 江守正多氏	テーマ別講演 モノを買う、使 う、手放す (公財) 消費者 教育支援セン ター 柿野 成美氏	テーマ別講演 動く・働く(学 ぶ)・遊ぶ 国立環境研究所 社会システム領 域(地域計画研 究室) 室長 松橋啓介氏	テーマ別講演 住まいのエネル ギー 東京大学大学院 工学系研究科建 築学専攻 准教授 前 真之氏	報告等 各回の討議結果、 武蔵野市の特性 武蔵野市 環境政策課
グループ 討議 (65～80分)	2050年ゼロカー ボンシティ実現 後の武蔵野市の 姿	モノを買う、 使う、手放す	動く・働く (学ぶ)・遊 ぶ	住まいのエネ ルギー	全体ふりかえり、 投票

参加者交流
目線合わせ

テーマ別のグループ討議

ふりかえり
・まとめ

本日の進め方

本日のスケジュール

時間	内容		全体/グループ別 (記載ない時間帯は 全体)	録画をウェブで 公開
18:30	開会			WEB
	ガイダンス	本日の進め方、前回の振り返り他		WEB
18:40	ゲストティーチャー講演	テーマ「モノを買う、使う、手放す」 柿野成美氏		WEB
19:00	質疑応答	講演に関する質疑		WEB
19:05	グループ討議	「モノを買う、使う、手放す」についてグルー プでディスカッション	グループ別	
20:00	発表	グループ代表から発表	グループ別	WEB
20:15	振り返り	発表に対する講師講評		WEB
	その他	次回予告、事務連絡		
20:30	閉会	閉会		

前回の振り返り

グループ討議結果

令和4年7月26日 第1回武蔵野市気候市民会議 討議テーマ「2050年ゼロカーボンシティ実現後の武蔵野市の姿」

Dグループ

交通

公共交通機関のCO₂ゼロ

電気自動車(カーシェアリング)普及

エネルギー

自然エネルギーの電気を選ぶ

ビルや民家の屋上に太陽光パネル(補助金)

太陽光発電が全世帯に普及している

ごみ

ごみのリサイクル廃棄物の減少

武蔵野市からプラスチックごみを減らす(イベントなどで発信)

家

日の当たる家を増やす

平家バリアフリーの家

今より気密性断熱性の高い家が多くなっている

節電のくらし

環境と考えることで市民のつながる場がある

エアコンとさよならすることで本当の健康と向き合う

生活の質何が大切か考える

節電などの節約が当たり前になる

緑化

緑豊かな町

武蔵野市全体の緑化

コミュニティ

趣味が楽しめる

ゼロカーボンシティ(エコタウン)としているんなイベントでみんなに認識してもらおう

老人が独りでも楽しく暮らせる町

道徳の時間でもっと子どもが環境問題について話し合う場がある

未来をにう若者に緑の地球を残せる行動を考える/行動する

親しい人と気楽に会える町

追加意見 (会議後アンケートより)

メディアやSNSなどを通じてゼロカーボンシティを目指す武蔵野市をどんどんアピールし発信して欲しい。

私たち(20代)のときには小学校での環境問題に対する授業が少ないように感じた。もっと道徳などの時間を使って討論する必要があると思う。

ジェンダーフリーの実現…自然エネルギーの電気を選びたくとも、家庭・社会で優位の男性の「安い方がいい」という意見が通ってしまうという現実が今はあるので。



講演に対する質問（アンケート）

「人為的要因」のうち、CO₂以外の要因はどのようなものか？どの程度の原因となっているか？

温室効果ガスの削減には、どんな方法がある？

CO₂を吸収する方法を知りたい。

再エネは、太陽光、風力、水力などの一般的に知られているもの以外に何がある？

化石燃料のうち、削減しやすいもの、代替エネルギーが作りやすいものはどれか？

2030年、2050年向けの温暖化ガス削減のマイルストーンは、具体的／現実的なものが設定されているのか？

国や各自治体が考えた対策は、どのくらい地球温暖化に役に立っているのか気になった。

温暖化に無関心な人に興味を持たせるにはどうすればよいか？

気候変動は主に産業界の行動変容が大事な課題だと認識している。市民レベルでどのように課題解決に貢献できるのか？

個人の行動が社会変容を起こすためにはこういったアプローチが効果的か？

グループ討議に対する感想（アンケート）

老若男女、多様な他者と地球の最重要課題をディスカッションできる貴重な機会。

世代間の考え方、受け止め方の違いが浮き彫りになったと思う。興味深い意見を聞いた。

楽しいアイデアをたくさん話せた。違う職業で目線の違う方々と話しができて良い時間だった。

もっとほかのグループの発表が聞きたかった。

どうすれば実行できるのか、批判的な意見が出ていたが、建設的に話をしていきたい。

オンラインの難しさも感じたが、互いに意見を言い合い、同じような問題意識を持っている方が多いと感じた。

江守先生が「CO₂ばかりを考えるのではなく、いろいろなことを考えるとよい」という助言があり、共感した。より広い視点で改善策を考えていくとよいと思った。

会議の運営に対する意見等（アンケート）

発言がまだ一部の人に偏りがちだと感じた。

自ら言い出さない人の意見をもっと聞けるよう、ファシリテーターから投げかけてもらうと良いのでは。

紙資料が多すぎる。当日のスライドは、後日メールで送ればよい。

この枠組み自体について討議することは予定されているのか？

（オンラインの班）
意見を述べる際に、意見をチャットにあげる操作が不慣れで手間取った。

（オンラインの班）
質問する際、名前で指名してもらう方が発言しやすい（自分以外の人でも手を挙げているかも）。

「武蔵野市の特性」とはどのようなことを意味するのか？

ゲストティーチャー講演

武蔵野市気候市民会議（第2回）

モノを買う、使う、手放す



公益財団法人消費者教育支援センター理事・首席主任研究員

法政大学大学院政策創造研究科准教授

柿野 成美

自己紹介

柿野 成美（かきの しげみ）

公益財団法人消費者教育支援センター理事・首席主任研究員
法政大学大学院政策創造研究科准教授

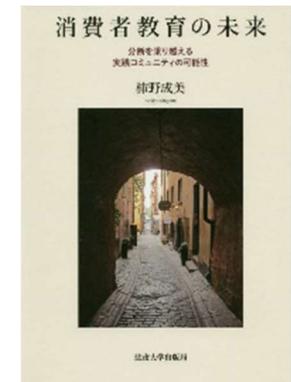


愛知県出身

お茶の水女子大学大学院修士課程を終了後、
平成10年より消費者教育支援センターに勤務
令和4年4月より現職 博士（政策学）

明治大学大学院兼任講師（コンシューマー・リテラシー）
昭和女子大学大学院非常勤講師（消費者政策論、消費者教育）
ファイナンシャル・プランナー（CFP認定者）

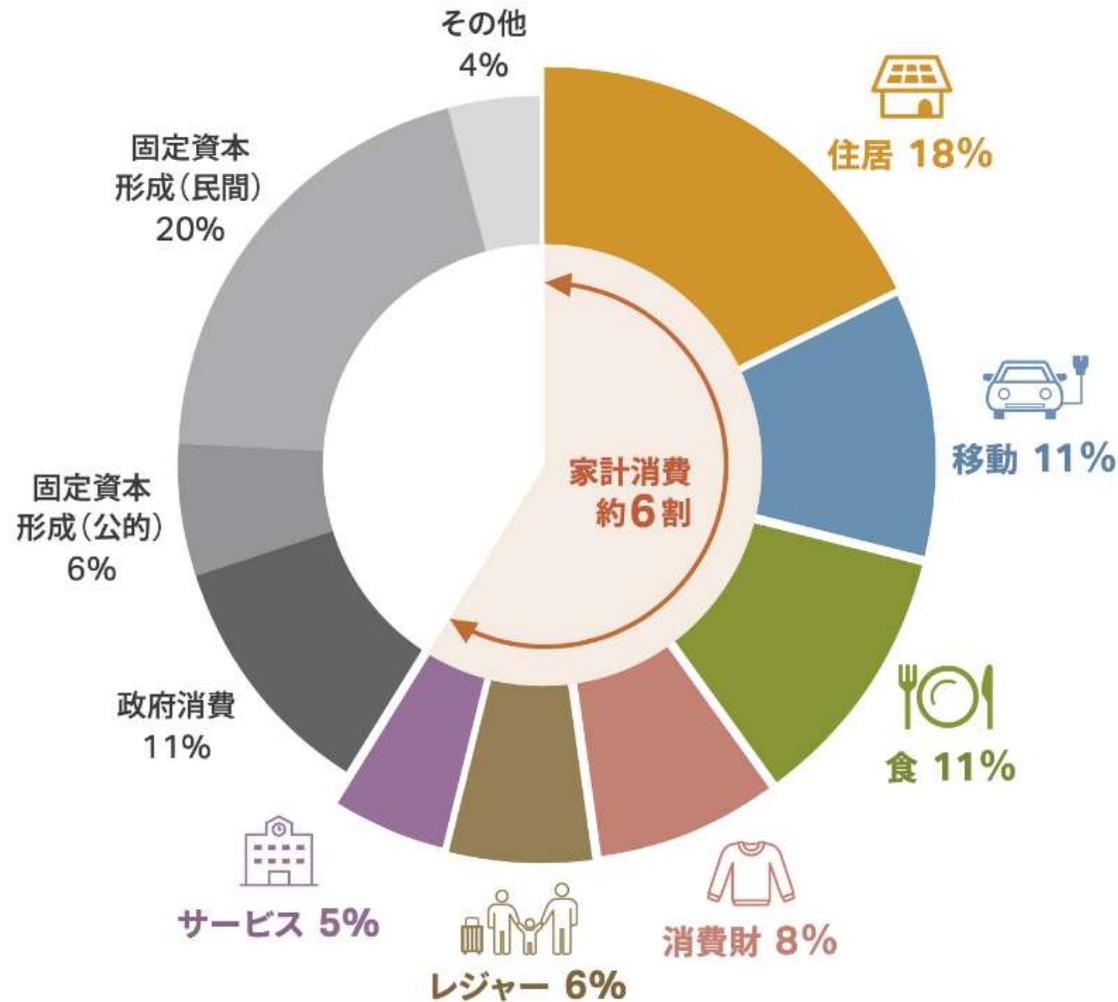
消費者庁消費者教育推進会議委員
文部科学省小学校学習指導要領解説執筆協力者
文部科学省消費者教育推進委員会委員
東京都消費生活対策審議会委員
浜松市消費者教育推進地域協議会委員
（一社）日本エシカル推進協議会理事



柿野成美『消費者教育の未来—分断を乗り越える
実践コミュニティの可能性—』法政大学出版局 2019

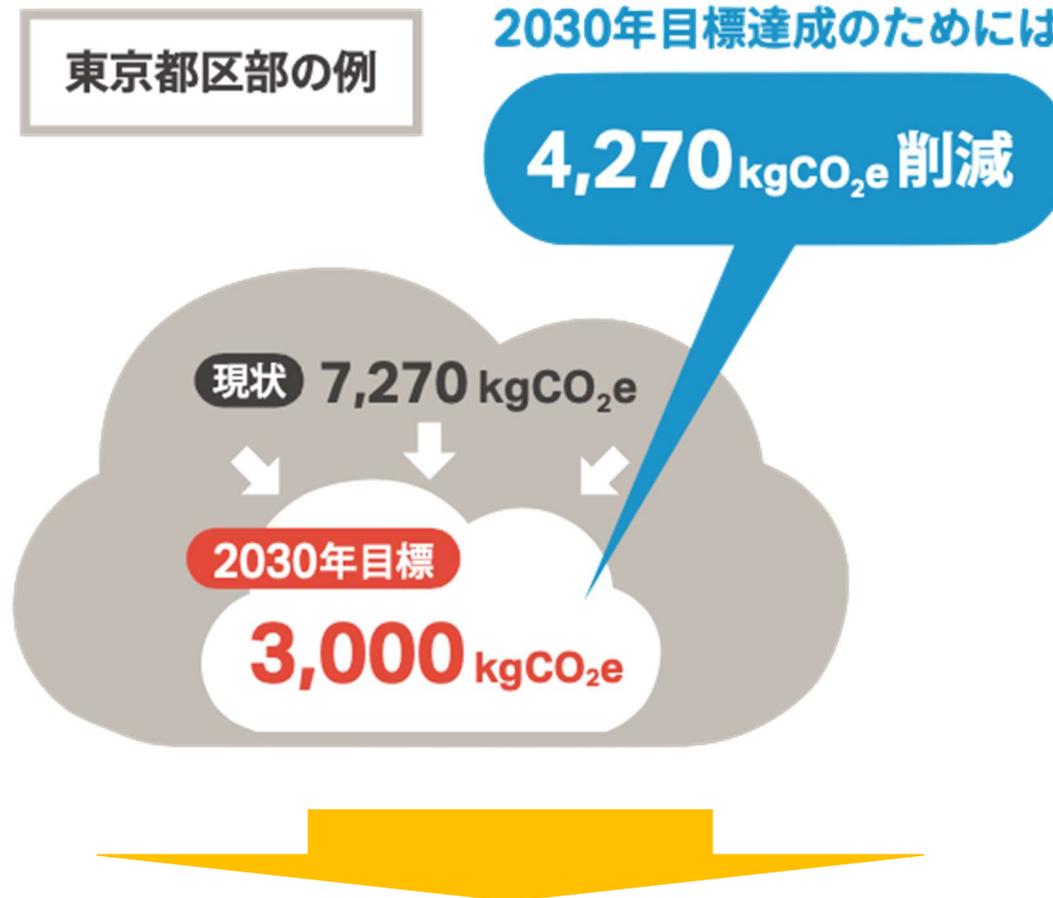
家計消費のカーボンフットプリント※

※家計が消費する製品やサービスのライフサイクル(資源の採取、素材の加工、製品の製造、流通、使用から廃棄)において生じる温室効果ガスの排出量



(出典) 国立環境研究所ウェブサイト「脱炭素型ライフスタイルの選択肢」

地球温暖化を1.5℃未満に抑える目標を達成するためには



脱炭素型のライフスタイルを取り入れていく必要性

Question

**モノやサービスを買うとき、
どのような基準で選んでいますか？**







脱炭素型のライフスタイルの実現を 目指す消費行動

STEP 1 本当に必要かどうかよく検討しよう

STEP 2 買い物は投票！
社会や経済に与える影響を考えよう

STEP 3 買うときは捨てることまで
考慮しよう

STEP 1

本当に必要かどうかよく検討しよう



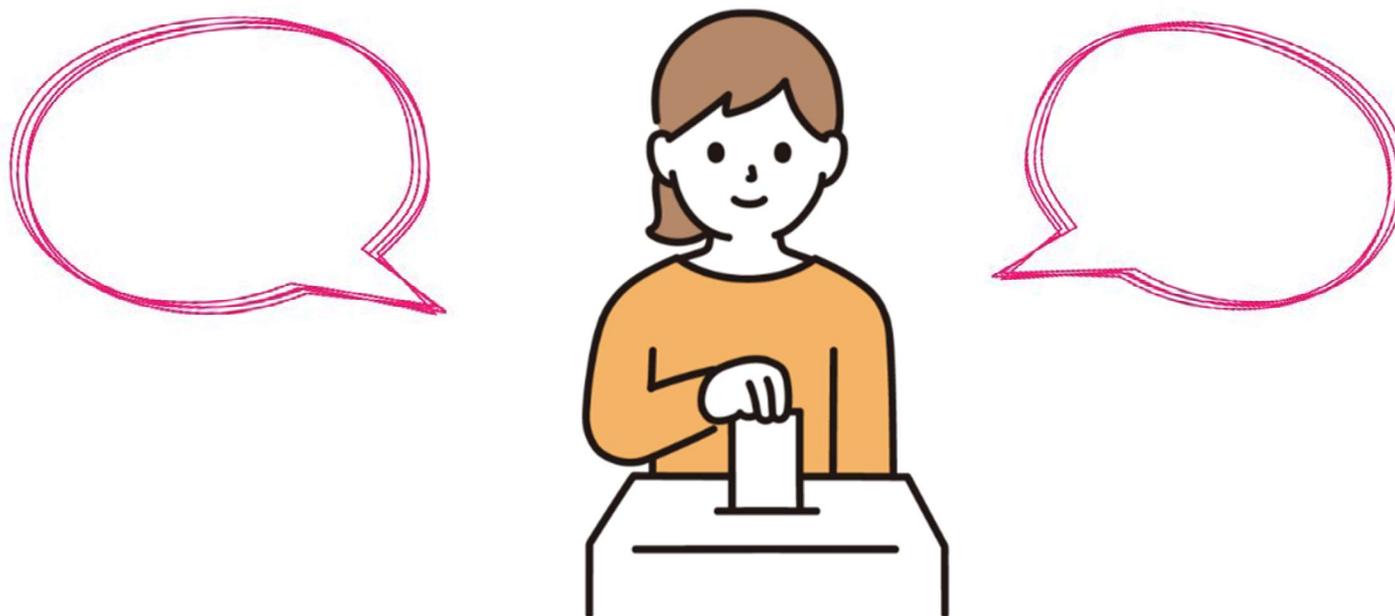
出典：（公財）消費者教育支援センター「めざせ！行動できる消費者」

- ニーズ（本当に必要なもの）とウォンツ（欲しいもの）を区別する
- 買わないという選択肢も大切（代用する、修理する、シェアする等）
- クリティカルシンキング

→大量生産、大量消費のライフスタイルを見直す

STEP 2

買い物は投票！ 社会や経済に与える影響を考えよう



- 環境配慮型の商品・サービスを選ぶ
- 地産地消、旬の食材、菜食を心がける
- 使い捨てではなく、長く大切に使えるかどうか、を基準に

→エシカル消費（人や社会、地域、環境に配慮した消費行動）をめざす

STEP 3

買うときは捨てることまで 考慮しよう



<https://shop.muji.com/jp/tokyo-ariake/service/483/>



- プラスチックを使っていない容器包装を選択する（紙包装、量り売り）
- リペア、アップサイクル、シェア等、ゴミを出さない工夫
- ゴミが出ない設計、出たごみは分別して資源回収へ

→サーキュラーエコノミー（循環型経済）へ

日々の消費生活において、さらにできることを考えよう



目標12: つくる責任 つかう責任



持続可能な消費と生産の形態を確保する

質 疑

グループ討議

グループ討議（第2回会議）

モノを買う、使う、手放す

1. 全体説明【5分】
2. グループ討議【50分】
 - 行動【15分】 
 - 波及効果【15分】 
 - まとめ【20分】 
3. 発表（3グループ）【15分】
4. 振り返り【10分】



モノを買う、使う、手放す

自分／みんなで できること



行動

15分

どんなモノを
選ぶ？

どんなふうに
モノを手放す？

モノを
どう使う？

① 各自で考える【5分】

➤ 付箋に書き出す

➤ メモを取り、チャット入力

② 発表する【10分】

黄色の付箋を使用

※オレンジ：オンライングループ

モノを買う、使う、手放す

自分／みんなで できること



貢献できる？

健康になる？

得する？

便利になる？

波及効果

15分

① 各自で考える【5分】

➤ 付箋に書き出す

➤ メモを取り、チャット入力

② 発表する【10分】

ピンク色の付箋を使用

※オレンジ：オンライングループ

モノを買う、使う、手放す

自分／みんなですること



まとめ

20分

- ① 振り返る
- ② 追加・整理する

重要なことは？

何が必要？

問題・課題も？

緑色の付箋を使用

グループ討議にあたっての注意事項



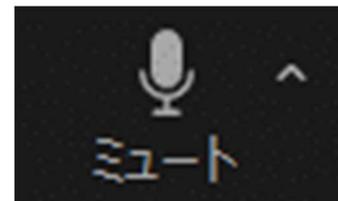
- ✓ 対話はキャッチボール
- ✓ 短く話そう、よく聞こう
- ✓ 気軽に、市民同士で
直接やり取りしてみましよう
- ✓ 他の人の発言を否定しない、
さえぎらない

Zoom操作（グループ討議）

<マイク>

- オフ
- 発言するとき⇒オン

オン



オフ



<カメラ>

- オン（ビデオの開始）
- 通信状況が悪いとき
⇒オフ（ビデオの停止）

オン



オフ



<意見提出>

- チャットを使って
意見を送信
(ファシリテータの指示を受け)



送信先: 全員 ▾

ここにメッセージを入力します。。。

発表

振り返り

その他

事務連絡

1. アンケートの提出

回答期限：8月29日（月）

- ▶ 市民会議での理解や討議を深めるため、今後の市民会議の運営に生かすため
- ▶ 集計結果は、次回会議等で報告



<https://questant.jp/q/G7VXS00T>

後日メールで回答URLを送付します。
また、QRコードは受付に掲示しています。

2. グループ討議の結果・次回への参考情報

- ▶ 概ね1～2週間後にWEB掲載（URL）

3. 記録動画（グループ討議を除く）

- ▶ 概ね1～2週間後にWEB掲載（URL）

4. 武蔵野市気候市民会議（第3回）

9月27日（火） 午後6時30分～

事務連絡

5. 名札返却のお願い（現地参加の方）

➤名札は外してファシリテータにお戻しくください。

6. 報酬のお渡しについて （現地参加の方）

➤受領証に氏名を記入し、ファシリテータに提出してください。クオカードをお渡しします。

（オンライン参加の方）

➤後日、郵送でお送りします。

閉 会